

# 縣報

第五百六十三號

明治三十九年六月十八日 和歌山縣

○公文

○和歌山縣令第三十號

本縣種牡牛取締規則別冊ノ通り相定ム

明治三十九年六月十五日

和歌山縣知事

伯爵 清 榎 家 敷

（別冊）

種牡牛取締規則

第一條 本則ニ於テ種牡牛ト稱スルハ種付用ニ供スル牡牛ニシテ當廳ノ検査ニ合格シタルモノヲ謂フ

第二條 種牡牛ニアラサル牡牛ハ本縣内ニ於テ種付用ニ供スルコトヲ得ス

第三條 當廳ノ検査員ハ第一號式ノ證票ヲ携帯ス

第四條 種牡牛ハ左記各號ニ該當スルコトヲ要ス

一 年齡 滿二歳以上

二 体尺 四尺以上

三 性質 温順ニシテ惡癖ナキモノ

四 体格 強壯營養善良ナルモノ

縣報第五百六十三號

明治三十九年六月十八日

第三種郵便物認可

五 遺傳病ナキモノ

第五條 種牡牛ハ毎年春期ニ於テ定期検査ヲ行フ其ノ期日及場所ハ之ヲ告示ス

前項ノ外當廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時検査ヲ行フコトアルヘシ

第六條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ前條ノ検査ヲ拒ムコトヲ得ス

第七條 新ニ牡牛ヲ種牡牛ニ爲サントスルモノ又ハ他府縣ヨリ率入レタル牡牛ニシテ本縣内ニ於テ種付用ニ供セントスルモノハ毎年一月三十一日限り第二號式ニ據リ當廳ニ願出検査ヲ受クベシ

前項ノ検査ハ定期検査ニ於テ之ヲ行フ

第八條 定期検査以外ニ於テ牡牛ノ検査ヲ受ケントスルトキハ第七條第一項ノ手續ニ準シ願出ヘシ

前項検査ノ場所及日時ハ當廳ニ於テ之レヲ指定ス

第九條 種牡牛又ハ牡牛ニシテ疾病其他ノ事故ノ爲メ指定ノ日時ニ受檢シ難キトキハ其ノ所有者又ハ管理者ハ事由ヲ詳具シ検査員ニ届出指揮ヲ受クベシ

第十條 検査ニ合格シタル牡牛ニハ其ノ左耳ニ第三號式ノ耳環ヲ符入シ第四號式ノ種牡牛證明書ヲ下付ス

第十一條 種牡牛證明書ノ有効期限ハ次期ノ定期検査期日迄トス

前項有効期限内ト雖モ疾病其ノ他種付用ニ不適當ナリト認メタルトキハ種牡牛證明書ノ効力ヲ停止シ若クハ之ヲ取消スコトアルベシ

第十二條 種牡牛證明書又ハ耳環ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ種牡牛畜養地市町村長ノ證明書ヲ提出ス

第十三條 種牡牛證明書又ハ耳環ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ種牡牛畜養地市町村長ノ證明書ヲ提出ス

第十四條 種牡牛證明書又ハ耳環ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ種牡牛畜養地市町村長ノ證明書ヲ提出ス

第十五條 種牡牛證明書又ハ耳環ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ種牡牛畜養地市町村長ノ證明書ヲ提出ス

第十六條 種牡牛證明書又ハ耳環ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ種牡牛畜養地市町村長ノ證明書ヲ提出ス

第十七條 種牡牛證明書又ハ耳環ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ種牡牛畜養地市町村長ノ證明書ヲ提出ス

第十八條 種牡牛證明書又ハ耳環ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ種牡牛畜養地市町村長ノ證明書ヲ提出ス

明ヲ受ケ七日以内ニ種牡牛證明書ノ再渡ヲ當廳ニ願出ヘシ

第十三條 種牡牛ノ所有權ヲ移轉シタルトキハ當事者双方連署ヲ以テ七日以内ニ種牡牛證明書ノ書替ヲ當廳ニ願出ヘシ

第十四條 左記各號ノ一ニ該當スルトキハ種牡牛所有者(所有權移轉ノトキハ前所有者)ハ七日以内ニ耳環ト共ニ種牡牛證明書ヲ當廳ニ返納スヘシ

一 種牡牛證明書其ノ効力ヲ失ヒ若クハ停止又ハ取消サレタルトキ

二 種牡牛ノ種付ヲ廢止シタルトキ

三 種牡牛ノ斃死シタルトキ

第十五條 種牡牛ノ失踪シタルトキハ其ノ月日ヲ記シ種牡牛證明書ヲ添ヘ七日以内ニ當廳ニ届出ヘシ

第十六條 左記各號ノ一ニ該當スルトキハ七日以内ニ種牡牛證明書ヲ添ヘ其ノ書替ヲ當廳ニ願出ヘシ

一 種牡牛ノ所有者代替、轉居、又ハ改姓名シタルトキ

二 種牡牛管理者ノ變更シタルトキ

三 種牡牛畜養地ヲ變更シタルトキ

四 種牡牛證明書ヲ毀損シタルトキ

五 種牡牛證明書ヲ汚損シ記載事項ノ不明瞭トナリタルトキ

第十七條 種牡牛證明書ハ賣買交換其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ一種牡牛ヲシテ左ノ制限ヲ超ヘ交尾セシムルコトヲ得ス

縣報第五百六十三號 明治三十九年六月十八日 第三種郵便物認可

一 滿三歳未滿ノモノ 一ヶ年内 五十回

二 滿三歳以上ノモノ 百回

第十九條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ左ノ行為ヲ爲スコトヲ得ス

一 傳染病又ハ遺傳病アル牝牛ニ交尾セシムルコト

二 二歳未滿ノ牝牛ニ交尾セシムルコト 但シ洋種ニシテ十八ヶ月ヲ越ヘ營養佳良ナルモノハ此限リニアラス

第二十條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ道路又ハ衆人群居スル場所ニ於テ交尾セシムルコトヲ得ス

第二十一條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ第五號式ニ據リ帳簿ヲ製シ種付ノ都度所定ノ事項ヲ明記シ第六號式ニ據リ每一ヶ年分翌年一月三十一日マテニ當廳ニ届出ヘシ

但一ヶ年間種付セザルトキハ其旨届出ヘシ

第二十二條 交尾セシメタル牝牛所有者又ハ管理者ヨリ産懷ノ血統書ヲ請求スルトキハ種牡牛所有者又ハ管理者ハ之レヲ拒ムコトヲ得ス

血統書ヲ交付スルトキハ書面一通ニ付金拾圓以内ノ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第二十三條 交尾ノ爲メ種牡牛ヲ其畜養地外ニ牽引スルトキ其ノ所有者又ハ管理者ハ種牡牛證明書ヲ携帯スヘシ

當該官吏又ハ牝牛所有者又ハ管理者ヨリ種牡牛證明書ノ閲覧ヲ請求スルトキハ種牡牛所有者又ハ管理者ハ之レヲ拒ムコトヲ得ス

第二十四條 本則第二條第六條第十二條乃至第二十三條ニ違背シタルモノハ一日以上十日以下ノ拘留又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第二十五條 本則ニ依リ當廳ニ差出ヘキ願届ハ町村コアリテハ種牡牛畜養地所轄町村役場及郡役所市ニアリテハ市役所ヲ經由スヘシ

畜養地ノ變更ニシテ他町村又ハ他郡市ニ亘ルトキハ双方ノ町村役場及郡市役所ヲ經由スレ

但農林學校郡農會ノ所有又ハ管理ニ係ルモノハ直チニ當廳又ハ郡役所ニ差出スト同時ニ其旨關係郡市役所及町村役場ニ通知スヘシ

附 則

第二十六條 本則ハ明治三十九年八月一日ヨリ施行ス

明治十八年二月布第十四號種牡牛馬取締規則ハ本則施行ノ日ヨリ之レヲ廢止ス

本則第七條ノ出願ハ本年ニ限リ八月卅一日迄トス本則第五條ノ定期検査ハ本年ニ限リ便宜ノ時期ニ於テ之レヲ行フ

本則施行以前明治十八年二月布第十四號種牡牛馬取締規則ニ依リ認可ヲ受ケタル種牡牛ハ前項ノ検査期日迄其効力ヲ有ス

縣報第五百六十三號 明治三十九年六月十八日 第三種郵便物認可

第一號式

三 寸

紙 質 物



二 寸 五 分

第二號式

- 一 種牡牛検査願
- 一 血統
- 一 種類
- 一 名號
- 一 出產年月 又ハ年齡

父 種地 種類 名號

母 種地 種類 名號

- 一 出產地名
  - 一 体尺
  - 一 毛色
  - 一 特徴
  - 一 畜養地
  - 一 管理者住所氏名
- 右種付用ニ供シ度候間御検査相願候也
- 年 月 日

何那市町村何大字何番地  
所有者 姓 名 印

知事宛

備考 一 種類ノ欄ニハ外國種アボツ又ハホルスタイン又ハ何々雜種ト記スルノ類、名號ノ欄ニハ鳳皇號又ハ第何號ト記スルノ類、産地ノ欄ニハ何府縣何那市町村(或ハ何々牧場)ト記スルノ類、特徴ノ欄ニハ額星又ハ爪白ト記スルノ類  
 二 血统ノ内不明ノ項アラハ其旨記載スルヲ要ス  
 三 出産年月不明ノモノアラハ年齢ヲ記スルヲ要ス

縣報第五百六十三號 明治三十九年六月十八日 第三種郵便物認可

第三號式

銀色

耳環

表



裏



第四號式

物

第 號

種牡牛證明書

住所 所有者姓名  
住所 管理者姓名

一 種類

六 寸

内徑一寸



月別	牝牛所有者 住所姓名	種牡牛證明 證番號	種付 シタル 數	全上牝牛ノ内種別		
				外國種頭數	内國種頭數	雜種頭數
明治何年一月						
全二月						
全三月						
全						
全						
全						
計						

右ノ通りニ候也

農報第五百六十三號 明治三十九年六月十八日 第三種郵便認可

住所 姓名 印

和 事 完  
備考 新ニ種牡牛ノ証明書ヲ得タルモノニテ一ケ年ニ滿リタル分ハ其証明書ニ係ル月分ハ該種ニ  
科進テ施スヲ要ス

○和歌山縣令第三十一號

理髮營業取締規則左ノ通相定ム

明治三十九年六月十五日

和歌山縣知事 伯爵 清 棧 家 教

理髮營業取締規則

第一條 本則ニ於テ理髮營業者ト稱スルハ頭髮、鬚髯ヲ結束又ハ剪剃スルヲ業トスル者ヲ謂フ

第二條 理髮營業ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ五日以前ニ所轄警察官署ニ届出ヘシ

一 住所氏名年齢

二 營業ノ場所

三 醫師ノ作リタル健康診斷書

營業者其營業ニ關シ家族、徒弟又ハ雇人ヲ使用セントスルトキハ住所氏名年齢ヲ記シ本條第三

號ノ診斷書ヲ添ヘ所轄警察官署ニ届出ヘシ

第三條 前條届出事項ニ異動ヲ生シ又ハ廢業シタルトキハ五日以内ニ所轄警察官署ニ届出ヘシ

但營業者死亡、失踪ノ場合ニ於テハ戶籍法ニ依ル届出義務者ヨリ其手續ヲ爲スヘシ

第四條 結核、癩病、微毒其他傳染性皮膚病アル者及精神病者又ハ癩癩病者ハ就業スルコトヲ得

ス

第五條 營業者ハ左記各項ヲ遵守シ及從業者タル家族、徒弟、雇人等ヲシテ遵守セシムヘシ

一 營業場及營業用器具ハ常ニ清潔ヲ保チ毛髮等ハ覆蓋アル一定ノ容器ニ集收シ散亂セシムヘ

カラス

二 一客ニ接スル以前ニ於テ石鹼又ハ二十倍ノ曹達水ニテ手指ヲ洗淨スヘシ

三 就業中ハ清潔ナル白布筒袖又ハ長胸掛ヲ用ユヘシ

四 營業用ニ供スル毛除覆、椅子ノ枕及凭椅部ハ清潔ナル白布ヲ用ユヘシ

五 前號枕ノ白布及手拭、頸巻ハ毎日一回以上毛除覆并椅子凭椅部ノ白布ハ每週一回以上洗濯

スヘシ

六 頸部及顔面等ノ濕シ水ハ使用毎ニ必ス取換ヘ湯槽、水甕等ノ洗淨用湯水ハ常ニ清潔ニシテ

毎日之ヲ取換ユヘシ

七 營業場ニハ無水酒精、石炭酸水(二十倍)フォルマリン水(百倍)ワール水(五十倍)熱曹達

液(二十倍)ノ一ヲ備ヘ置キ「シヤツキ」剪、剃刀、櫛、フク取ノ類ハ每客使用後直ニ浸漬シ

タル上更ニ清水ニテ洗淨スヘシ

八 結核、癩病、微毒其他傳染性皮膚病ノ疑ヒアル者ニ使用シタル器具物品ハ前號藥劑中ノ一

ヲ選ミ三十分間以上浸漬シ又ハ煮沸及蒸氣(四十分以上)消毒スヘシ

九 本規定以外ノ方法ニ依リ消毒ヲ爲サントスルトキハ所轄警察官署ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 營業者ニ於テ組合ヲ設ケ規約ヲ定メントスルトキハ所轄警察官ノ認可ヲ受クヘシ其變更

ヲ爲サントスルトキ又同シ

但土地ノ狀況ニ依リ同一警察官署ノ管轄區域内ニ二以上ノ組合ヲ設ケタルコトヲ得

第七條 營業場以外ニ於テ從業ノ場合モ亦本則ヲ遵守スヘシ

第八條 營業場ニハ客ノ見易キ場所ニ本則第四條第五條ノ事項ヲ揭示スヘシ

第九條 警察官吏ハ隨時其營業場ニ臨檢スルコトアルヘシ

第十條 本則第二條乃至第七條ニ違背シ若クハ第九條ノ臨檢ヲ拒ミタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第十一條 家族、徒弟、雇人ノ所爲ト雖ニ其營業上ニ關シテハ營業者其ノ責ヲ免カル、コトヲ得

ス

第十二條 本則ハ明治三十九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

第十三條 現在ノ理髮營業者ハ本則ノ施行ノ日ヨリ二十日以内ニ第二條ノ届出ヲ爲スヘシ





○正 誤

本月十二日縣報第五百六十一號中告示第百十六號ノ内  
 一枚ノ裏九行目 (一町六段六畝廿八步)ハ(三町六段六畝廿八步)ノ誤  
 二枚ノ裏八行目 (二畝十二步)ハ(三畝十二步)ノ誤  
 六枚ノ裏四行目 (一)「サシブクズ」ハ(サシブクズ)ノ誤  
 明治三十九年六月十五日 和歌山縣

○褒 賞

一金參拾五錢	和歌山縣那賀郡志賀野村	志賀谷泉	大東熊太郎
一金拾五錢	同	薄上虎市	辻 久吉
一金拾五錢	同	新宅タマ	金田菊松
一金拾錢	同	堀 昇	應知峰仙太郎
一金貳拾錢	同	繪圖朝一	山本龜松
一金拾五錢	同	安平和一郎	中西善之丞
一金貳拾錢	同	秦 快明	森本由太郎
一金拾錢	同東貴志村	岡山 靜	同野鹿次郎
一金拾錢	同	岡端政次郎	藤田龜之進
一金拾錢	同	的場定楠	

縣報第五百六十三號 明治三十九年六月十八日 第三種郵便物認可

一金拾錢	同	柳本光太郎	高岸梅楠
一金拾錢	同	的場力松	藤田得一
一金拾錢	同名手村	辻 兵吉	泉谷熊彦
一金拾錢	同	辻 岩松	名出長四郎
一金拾錢	同	田中元吉	野口熊一
一金拾錢	同	妹背 紗	堀島之助
一金拾錢	同	木村熊太郎	箱谷猪之助
一金拾錢	同	假屋島次郎	木村徳太郎
一金拾錢	同	上野齊右衛門	金岡虎之助
一金拾錢	同	名出平四郎	名出男太郎
一金拾錢	同	北岡恒藏	平井萬次郎
一金拾錢	同	松山徳兵衛	辻田彦右衛門
一金拾錢	同	佐々木順積	平井清三郎
一金拾錢	同調月村	福岡さよの	東よし枝
一金拾錢	同	櫻坂とも江	宮本こひめ
一金拾錢	同	井沼ひさ枝	殿田わたけ
一金拾錢	同	西岡わたつた	吉田やすと
一金拾錢	同	加藤ふみの	東さくら
一金拾錢	同	小阪わかき	尼岡とみの

一金拾錢	同	東りよゑ	一金拾錢	同	井沼こよし
一金拾錢	同	福岡ぬい	一金拾錢	同	東峰榮吉
一金拾錢	同	中谷久太郎	一金拾錢	同	前田貫
一金拾錢	同	大岩岩次郎	一金拾錢	同	中元信太郎
一金拾錢	同	宗林常杉	一金拾錢	同	中谷喜七
一金拾錢	同	田伏俊三	一金拾錢	同	吉瀬鶴松
一金拾錢	同	野田嘉右衛門	一金拾錢	同	田淵晋
一金拾錢	同	田淵久左衛門	一金拾錢	同	西田宗平
一金拾錢	同	森本安松	一金拾錢	同	廣尾伊助
一金拾錢	同	中井定四郎	一金拾錢	同	中谷政吉
一金拾錢	同	中谷仁右衛門	一金拾錢	同	岩崎勘七
一金拾錢	同	林熊太郎	一金拾錢	同	伊藤友次郎
一金拾錢	同	榎本銀吉	一金拾錢	同	津田信吉
一金拾錢	同	久保定吉	一金拾五錢	同	畑野定右衛門
一金拾錢	同	阪上萬之助	一金拾錢	同	畑幸右衛門
一金拾錢	同	木村政五郎	一金拾錢	同	駒木安兵衛
一金拾五錢	同	瀧本長之助	一金拾錢	同	藤垣卯之助
一金拾錢	同	吉瀬長之助	一金拾錢	同	鳥山權治
一金拾錢	同	東浦松太郎	一金拾五錢	同	

縣報第五百六十三號

明治三十九年六月十八日

第二種郵便物認可

十一

一金拾錢	同	湯谷政吉	一金拾錢	同	西山市楠
一金拾錢	同	小西什	一金拾錢	同	長峰善右衛門
一金拾錢	同	豊田三千春	一金拾錢	同	井澤徳右衛門
一金拾錢	同	西 正造	一金拾貳錢五厘同	同	角田馬之丞
一金拾錢	同	東 泰壽	一金拾貳錢五厘同	同	有南守兵衛
一金拾錢	同	田中定五郎	一金拾錢	同	有南勝太郎
一金拾錢	同	上住正永	一金拾錢	同	中野彌平次
一金拾錢	同	上西岩太郎	一金拾錢	同	南澤林楠
一金拾錢	同	宮崎重太郎	一金拾錢	同	上畑徳太郎
一金拾錢	同	中 保吉	一金拾錢	同	中尾勘之丞
一金拾錢	同	西山利右衛門	一金拾錢	同	中林 藏
一金拾錢	同	西熊之助	一金拾錢	同	明賀長次郎
一金拾錢	同	中越實之助	一金拾錢	同	中吉龜太郎
一金拾錢	同	大家勝次	一金拾錢	同	西上吉松
一金拾錢	同	上柏政太郎	一金拾錢	同	井澤權右衛門
一金拾錢	同	宗和重太郎	一金拾錢	同	

明治三十七八年戰役ノ際恤兵費トシテ頭書ノ金員寄付候段殊勝ニ候事

明治三十九年四月二日

和歌山縣知事

從三位伯爵 清 棧 家 敷

○觀測

明治三十九年六月十三日ヨリ三日間當地氣象概況

月日	六月十三日		六月十四日		六月十五日	
	前年	本年	前年	本年	前年	本年
平均氣壓	七五六耗七	七六〇耗一	七五四耗五	七六〇耗九	七五六耗五	七六〇耗六
平均氣溫	二六度三	二〇度一	二一度五	二二度六	一九度五	二二度二
最高氣溫	三〇度一	二三度五	二五度三	二五度九	二〇度〇	二五度〇
最低氣溫	二三度八	一五度七	一八度九	一六度七	一八度五	一六度八
最多風向	南	南西	北西	南西	北々東	北々東
平均風力	七米一	三米五	四米七	三米四	二米四	四米九
天氣	半晴小雨	晴	雨	晴	雨	晴
雨雪量	五耗七	一	七二耗一	一	五六耗〇	〇耗〇
記事現象	終日時々	午前十時	降雨終日	夜間微雨	降雨終日	一

縣報第五百六十三號

明治三十九年六月十八日

第三種郵便物認可

十二終

明治三十三年五月八日第三種郵便物認可

降雨ス	海上風雨	斷續	斷續
夕刻海上	ノ警戒ヲ	一前夜來ノ	
風雨ノ警	解除ス	暴風早曉	
報着電		歌々	
黄昏ヨリ		最強ハ午	
南方ノ強		前三時(	
風吹ク		一秒時廿	
		六米ノ速	
		力)	
		午前〇時	
		四十五分	
		南方ニ電	
		雷	

毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十九年六月十七日印刷  
明治三十九年六月十八日發行

(第八頁)

和歌山縣

和歌山市大保町一丁目一番地  
印刷人 山本次太郎  
印刷所 和歌山市大保町一丁目二十四番地  
大天印刷部

○和歌山縣令第三十號

本縣種牡牛取締規則別冊ノ通り相定ム

明治三十九年六月十五日

和歌山縣知事 伯爵 清 兼 家 敷

(別冊)

種牡牛取締規則

- 第一條 本則ニ於テ種牡牛ト稱スルハ種付用ニ供スル牡牛ニシテ當廳ノ検査ニ合格シタルモノヲ謂フ
  - 第二條 種牡牛ニアラサル牡牛ハ本縣内ニ於テ種付用ニ供スルコトヲ得ス
  - 第三條 當廳ノ検査員ハ第一號式ノ證標ヲ携帯ス
  - 第四條 種牡牛ハ左記各號ニ該當スルコトヲ要ス
    - 一 年齢 滿二歳以上
    - 二 体尺 四尺以上
    - 三 性質 温順ニシテ惡癖ナキモノ
    - 四 体格 強壯營養善良ナルモノ
    - 五 遺傳病ナキモノ
  - 第五條 種牡牛ハ毎年春期ニ於テ定期検査ヲ行フ其ノ期日及場所ハ之ヲ告示ス
- 前項ノ外當廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時検査ヲ行フコトアルヘシ

縣報第五百六十三號

明治三十九年六月十八日

第三種郵便物認可

- 第六條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ前條ノ検査ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第七條 新ニ牡牛ヲ種牡牛ニ爲セントスルモノ又ハ他府縣ヨリ牽入シタル牡牛ニシテ本縣内ニ於テ種付用ニ供セントスルモノハ毎年一月三十一日限リ第二號式ニ據リ當廳ニ願出検査ヲ受クヘシ
- 前項ノ検査ハ定期検査ニ於テ之ヲ行フ
- 第八條 定期検査以外ニ於テ牡牛ノ検査ヲ受ケントスルトキハ第七條第一項ノ手續ニ準リ願出ヘシ
- 前項検査ノ場所及日時ハ當廳ニ於テ之レヲ指定ス
- 第九條 種牡牛又ハ牡牛ニシテ疾病其他ノ事故ノ爲メ指定ノ日時ニ受檢シ難キトキハ其ノ所有者又ハ管理者ハ事由ヲ詳具シ検査員ニ届出指揮ヲ受クヘシ
- 第十條 検査ニ合格シタル牡牛ニハ其ノ左耳ニ第三號式ノ耳環ヲ挿入シ第四號式ノ種牡牛證明書ヲ下付ス
- 第十一條 種牡牛證明書ノ有効期限ハ次期ノ定期検査期日迄トス
- 前項有効期限内ト雖モ疾病其ノ他種付用ニ不適當ナリト認メタルトキハ種牡牛證明書ノ効力ヲ停止シ若クハ之ヲ取消スコトアルヘシ
- 第十二條 種牡牛證明書又ハ耳環ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ種牡牛畜養地市町村長ノ證明ヲ受ケ七日以内ニ種牡牛證明書ノ再渡ヲ當廳ニ願出ヘシ
- 第十三條 種牡牛ノ所有權ヲ移轉シタルトキハ當事者双方連署ヲ以テ七日以内ニ種牡牛證明書ノ書替ヲ當廳ニ願出ヘシ

第十四條 左記各號ノ一ニ該當スルトキハ種牡牛所有者(所有權移轉ノト)ハ七日以内ニ耳環ト共ニ種牡牛證明書ヲ當廳ニ返納スヘシ

一 種牡牛證明書其ノ効力ヲ失ヒ若クハ停止又ハ取消サレタルトキ

二 種牡牛ノ種付ヲ廢止シタルトキ

三 種牡牛ノ踏死シタルトキ

第十五條 種牡牛ノ失踪シタルトキハ其ノ月日ヲ記シ種牡牛證明書ヲ添ヘ七日以内ニ當廳ヘ届出

第十六條 左記各號ノ一ニ該當スルトキハ七日以内ニ種牡牛證明書ヲ添ヘ其ノ書替ヲ當廳ニ届出

一 種牡牛ノ所有者代替、轉居、又ハ改姓名シタルトキ

二 種牡牛管理者ノ變更シタルトキ

三 種牡牛畜養地ヲ變更シタルトキ

四 種牡牛證明書ヲ毀損シタルトキ

五 種牡牛證明書ヲ汚損シ記載事項ノ不明瞭トナリタルトキ

第十七條 種牡牛證明書ハ賣買交換其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ一種牡牛ヲシテ左ノ制限ヲ超ヘ交尾セシムルコトヲ得ス

一ケ年内

一 滿三歳未滿ノモノ 五十回

全

二 滿三歳以上ノモノ 百回

但シ如何ナル場合ト雖モ一日二回ヲ起ユルコトヲ得ス

第十九條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一 傳染病又ハ遺傳病アル牝牛ニ交尾セシムルコト

二 二歳未滿ノ牝牛ニ交尾セシムルコト

但シ洋種ニシテ十八ケ月ヲ超ヘ營養佳良ナルモノハ此限リニアラス

第二十條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ道路又ハ衆人群居スル場所ニ於テ交尾セシムルコトヲ得ス

第二十一條 種牡牛所有者又ハ管理者ハ第五號式ニ據リ帳簿ヲ製シ種付ノ都度所定ノ事項ヲ明記

シ第六號式ニ據リ每一ケ年分翌年一月三十一日マテニ當廳ヘ届出ヘシ

但一ケ年間種付セサルトキハ其旨届出ヘシ

前項ノ帳簿ハ當該官吏ノ檢閲ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十二條 交尾セシメタル牝牛所有者又ハ管理者ヨリ産積ノ血統書ヲ請求スルトキハ種牡牛所

所有者又ハ管理者ハ之レヲ拒ムコトヲ得ス

血統書ヲ交付スルトキハ書面一通ニ付金拾圓以内ノ手数料ヲ徴收スルコトヲ得

第二十三條 交尾ノ爲メ種牡牛ヲ其畜養地外ニ牽引スルトキ其ノ所有者又ハ管理者ハ種牡牛證明

書ヲ携帯スヘシ

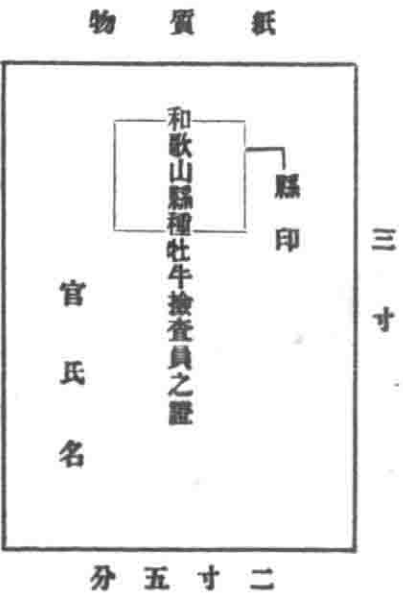
當該官吏又ハ牝牛所有者又ハ管理者ヨリ種牡牛證明書ノ閱覽ヲ請求スルトキハ種牡牛所有者又

ハ管理者ハ之レヲ拒ムコトヲ得ス  
 第二十四條 本則第二條第六條第十二條乃至第二十三條ニ違背シタルモノハ一日以上十日以下ノ拘留又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス  
 第二十五條 本則ニ依リ當廳ニ差出ヘキ願届ハ町村ニアリテハ種牡牛畜養地所轄町村役場及郡役所市ニアリテハ市役所ヲ經由スヘシ  
 畜養地ノ變更ニシテ他町村又ハ他郡市ニ亙ルトキハ双方ノ町村役場及郡市役所ヲ經由スヘシ、但農林學校郡農會ノ所有又ハ管理ニ係ルモノハ直チニ當廳又ハ郡役所ニ差出スト同時ニ其旨關係郡市役所及町村役場ニ通知スヘシ

附 則

第二十六條 本則ハ明治三十九年八月一日ヨリ施行ス  
 明治十八年二月布第十四號種牡牛馬取締規則ハ本則施行ノ日ヨリ之レヲ廢止ス  
 本則第七條ノ出願ハ本年ニ限リ八月卅一日迄トス本則第五條ノ定期検査ハ本年ニ限リ便宜ノ時期ニ於テ之レヲ行フ  
 本則施行以前明治十八年二月布第十四號種牡牛馬取締規則ニ依リ認可ヲ受ケタル種牡牛ハ前項ノ検査期日迄其効力ヲ有ス

第一號式



第二號式

- 一 種牡牛検査員
  - 一 血統
  - 一 種類
  - 一 名號
  - 一 出產年月 又ハ年齡
- 父種地 名號
- 母種地 名號

- 一 出產地名
  - 一 体尺
  - 一 毛色
  - 一 特徴
  - 一 畜養地
  - 一 管理者住所氏名
- 右種付用ニ供シ度候間御検査相願候也
- 年 月 日

何那市町村何大字何番地  
所有者 姓 名 印

知事宛

備考 一 種類ノ欄ニハ外國種アボツ又ハホルスタイン又ハ何々雜種ト記スルノ類、名號ノ欄ニハ鳳皇號又ハ第何號ト記スルノ類、產地ノ欄ニハ何府縣何郡市町村(或ハ何々牧場)ト記スルノ類、特徴ノ欄ニハ額星又ハ爪白ト記スルノ類  
二 血統ノ内不明ノ項アラハ其旨記載スルヲ要ス  
三 出産年月不明ノモノアラハ年齢ヲ記スルヲ要ス

縣報第五百六十三號 明治三十九年六月十八日 第三種郵便物認可 四

第三號式

銀色

耳環



第四號式

物

第 號

種牡牛證明書

住所 所有者姓名

住所 管理者姓名

一種類

六寸

内徑一寸





月別	牝牛所有者 住所姓名	種牡牛證明 證番號	種付シタル 頭數	全上牝牛ノ内種別		
				外國種頭數	内國種頭數	雜種頭數
明治何年一月						
全二月						
全三月						
全						
全						
全						
計						

右ノ通りニ候也

農務部第五百六十三號 明治三十九年六月十八日 第三種郵便物認可

和 專 宛  
 備考 所ニ種牡牛ノ証明書ヲ得タルモノニテ一年ニ滿タル分ハ其証明書ニ係ル月分ハ該種ニ  
 斜線ヲ施ステ要ス

住 所  
 姓 名 印

○和歌山縣訓令第二十三號

本年六月縣令第三十號種牡牛取締規則ニ關スル取扱手續左ノ通相定ム

明治三十九年六月十八日

和歌山縣知事

伯爵 清 橋 家 秋

郡 役 所  
市 役 所  
町 村 役 場

第一條 町村役場ニ於テ種牡牛ニ關スル願届ヲ受理シタルトキハ直ニ郡役所ニ進達スヘシ

郡市役所ニ於テ受理シタル書面ノ内規則第七條ノ願書ニアリテハ之ヲ取纏メ目錄ヲ添付シ二月末日迄ニ其ノ他ノ願届書ハ時々當廳ニ進達スヘシ

第二條 郡市役所及町村役場ニ於テハ第一號式ニ據リ各其ノ管轄内ニ於ケル種牡牛籍簿ヲ作製スヘシ

第三條 郡市役所及町村役場ニ於テ當廳ヨリ下付スル種牡牛證明書ヲ受ケタルトキハ之ヲ種牡牛籍簿ニ登録シ又ハ訂正ヲ加ヘタル上傳達ノ手續ヲ爲スヘシ

證明書返納ノ場合ニアリテハ種牡牛籍簿ニ其返納ノ事由及年月日ヲ記入シタル上進達スヘシ

第一號式

種牡牛籍簿

證明書番號

所

所有者  
住所  
全上姓名  
全上書替  
年月日  
全上事由

縣報第五百六十三號

明治三十九年六月十八日

第三種郵便物認可

九

種 類	名 號	毛 色	体 尺	特 徴	出 産 年 月 又ハ年 齡	出 産 地 名	血 統
				畜 養 者		畜 養 地 名	
				管 理 者		全 上 書 替 年 月 日	
				有 者		全 上 事 由	
				名 地 養 畜			